

令和元年度 学校評価 ~2学期の結果と今後の改善に向けて~

神栖市立須田小学校

評価結果の捉え方

設問に対して、4観点で答えるので、最高点は4ポイント、最低点は1ポイントとなります。一つの設問に4人がそれぞれ4・3・2・1ポイントと選択した場合の合計点は10ポイント、4人で割ると2.5ポイントとなります。平均は、2.5ポイントとなります。

2.5ポイント前後の項目に対しては、対策を検討して改善を図る必要があると判断することになります。高いポイントであっても確認し、さらによくなるためにできる対策を検討していくと考えています。

	教師	1 学期	2 学期	3 学期	児童	1 学期	2 学期	3 学期	保護者	前期	後期	学校関係者
教育目標等	1 児童が楽しく学校生活を送れるよう努力している。	3.5	3.8		1 学校は楽しい。	3.6	3.6		1 学校は、児童が楽しく学校生活を送れるよう努力している。	3.4		年度末に評価いたします。
	2 児童が家庭や地域で元気にあいさつできるよう指導している。	3.3	3.2		2 誰に対しても元気よく大きな声であいさつしている。	3.1	3.1		2 お子様は、家庭や地域で元気にあいさつをしている。	3.0		
	3 児童自らが幹をつむぐ特別活動の充実に努めている。	3.1	3.2		3 友達と活動することが楽しい。	3.7	3.8		3 学校は児童が友達とのかかわりを通して楽しく活動できるよう取り組んでいる。	3.3		
	4 児童一人一人のよさを引き出すよう努力している。	3.1	3.5		4 目標をもって、努力している。	3.2	3.4		4 お子様は、目標に向かってあきらめずに努力している。	3.0		
	5 学校運営の組織の一員として役割をもち取り組んでいる。	3.4	3.5									
	6 自分は、子どもたちが様々なかかわりを通して自主性・自立性を高めるよう努力している。	3.3	3.3									
	7 コンプライアンス遵守の意識をもって責任ある行動をとっている。	3.6	3.8									
学力向上・授業(教科指導)	8 自分は、基礎・基本の定着を図るために指導方法、形態を工夫し、成果が上がっている。	2.8	2.8		5 授業が楽しく、先生は分かりやすく教えてくれる。	3.6	3.7		5 学校では、子どもたちに分かりやすい授業をしている。	3.2		
	9 自分は、授業中に、個に応じた支援を行っている。	3.0	3.3		6 先生は「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」と思うような授業をしてくれる。	3.6	3.6		6 学校では、児童が自ら進んで学習する授業づくりに努めている。	3.2		
				7 勉強が分からぬ時には、先生が教えてくれる。	3.6	3.6		7 学校は、子どもに応じた学習の支援を行っている。	3.1			
	10 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践をしている。	2.7	2.9		8 授業には自分から進んで取り組んでいる。	3.2	3.3					
	11 家庭学習の習慣化を図る取組を行っている。	3.0	3.3		9 毎日家庭学習に取り組んでいる。	3.3	3.3		8 お子様は、毎日家庭学習に取り組む習慣が身についている。	2.9		
生徒指導・学級経営等	12 体罰や暴言のない指導を心掛けている。	3.7	3.8						9 学校は、体罰・暴言のない学校にしようと努力している。	3.3		
	13 自分は、児童一人一人が安心でき、所属感のある学級づくりに取り組んでいる。	3.3	3.6		10 私のクラスは楽しく、教室は安心できる場所である。	3.4	3.5		10 学校は、安心して通わすことができる環境である。	3.4		
	14 自分は児童が目標に向かって努力したり、振り返ったりする活動を大事にしている。	3.1	3.5		11 先生は、がんばっていることをほめてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。	3.6	3.6		11 学校は、児童一人一人を理解し、大切にしている。	3.3		
	15 いじめのない学校、学級づくりに取り組んでいる。	3.5	3.9		12 いじめの3つの約束を守っている。(友達と仲良くします。友達のいやがることはいいません。友達のいやがることはしません。)	3.6	3.7		12 学校は、いじめのない学校、学級、環境づくりに取り組んでいる。	3.2		
	16 児童の人権を尊重し指導にあたっている。	3.5	3.6									
安全・健康管理	17 学校安全計画・危機管理マニュアル等によって組織的に安全管理がなされている。	3.4	3.5						13 学校は、子どもの安全確保や健康管理のための取組を行っている。	3.4		
	18 自分は、施設・設備の安全・管理維持のために点検し、すぐに報告・修繕している。	3.2	3.6		13 8時間以上すいみんをとっている。	3.5	3.4		14 お子様は、睡眠時間をだいたい8時間以上とっている。	3.4		
	19 睡眠時間、朝食の摂取等基礎的な生活習慣が身に付くよう保護者に働きかけている。	3.1	3.1		14 朝ごはんを食べて登校している。	3.8	3.8		15 お子様は、朝ごはんを食べて登校している。	3.8		
				15 ゲームやテレビの時間、スマホの使い方の約束事を決めている。	3.1	3.3						
開かれた学校づくり	20 自分は、児童の変化について保護者と相談したり、保護者からの話をよく聴いたりしている。	3.3	3.5		16 学習や生活などについて、学校の先生に相談しやすい。	3.2	3.3		16 学校は、何かあったときなど、相談がしやすい。	3.3		
	21 自分は、児童の様子を、適切な方法で保護者や地域に伝えている。	2.9	3.2						17 学校は、便りやホームページ、メール配信等で情報をよく発信している。	3.4		
研修	22 意欲的に研修に取り組んでいる。	3.0	3.2									
	23 TEAM須田小の一員として高め合いながら教育活動を進めている。	3.1	3.4									
	24 自分は働き方改革を意識して勤務している。	2.8	3.1						18 学校は、勤務時間の見直し等働き方改革に取り組んでいる。	3.3		

○ 改善の方策

- 【 教育目標等 】 ○本校の教育目標である「夢に向かって たくましく ともに伸びる 須田っ子の育成」の実現に向けての様々な施策について取組・評価・改善を重視しながら1学期に引き続き、取り組んでいきます。家庭や地域におけるあいさつの励行については、学校と家庭がより一層連携し、大きな声で、自分からあいさつすることの意識化と習慣化を図ります。
- 【 学力向上・授業(教科指導) 】 ○授業においては、児童の学習意欲を喚起する学習課題の設定や児童同士が協働的に課題解決に取り組む授業づくりについて、1学期に引き続き、校内研修を活用しながら改善を図ります。また、パワーアッププリントを活用しての学び直しや習熟度別学習の実施を通して、基礎・基本の定着を図ります。家庭学習の習慣化においては、教師が課題を提示したり、児童が課題を選択したりするなど、学年ごとの目標時間を家庭で学習に取り組む習慣化を図るための取組を家庭と連携を図りながら進めます。
- 【 生徒指導・学級経営等 】 ○子どもたちの居場所づくりについては、いじめのない学級・安心して通える学校を目指し一人一人に寄り添った指導に努めます。
○特別活動を通して一人一人が活躍できる場を設け、達成感を味わえるようにするとともに、お互いを認め合える人間関係づくりに努めます。
- 【 安全・健康管理 】 ○保健指導を通して、家庭とも連携した「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化を図ります。SNSの使い方については、これまで実施したメディア教育の効果をさらに高めるよう学級での指導も継続して行います。
- 【 開かれた学校づくり 】 ○教育相談においては、疑問や悩みを相談しやすい学校の体制づくりにより一層努めます。
- 【 研修 】 ○心身ともに健康な状態で児童と接し、教育相談を含めた指導力向上に向けた研修時間を確保できるよう働き方改革に努めます。